

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生情報ビジネス専門学校北九州校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

学校関係者評価報告書

麻生情報ビジネス専門学校 北九州校

平成30年 6月 22日

校 長 富 田 博 之

自己点検・評価責任者

校長代行 安 部 倫 太 朗

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 1 -
5. 学校関係者評価方法	- 1 -
II. 学校関係者評価内容	- 2 -
基準 1 理念・目的	- 2 -
基準 2 教育の内容	- 2 -
基準 3 教育の実施体制	- 5 -
基準 4 教育目標の達成度	- 7 -
基準 5 学生支援	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 9 -
基準 7 社会的活動	- 10 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 11 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 13 -

※基準9は評価対象外

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生情報ビジネス専門学校北九州校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	池田 隼人	(株)メンバーズ ラーニングプラットフォーム室組織開発グループ グループ長/マネージャー
業界関係者	森田 良一	バリエントソフト(株) 代表取締役
業界関係者	河上 和弘	(株)ジーン 第一開発事業部 事業部長
業界関係者	宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長
業界関係者	上田 浩二	ガレージインク 代表
業界関係者	伊藤 洋平	(株)安川ビジネススタッフ 営業企画本部 営業企画課長
高 校	瀧口 博俊	福岡県立小倉商業高等学校 校長
地域住民	安部 久美子	地域住民代表
卒業生	西村 祥子	システムエンジニア科 平成 2 1 年度卒業生
保護者	小野 千恵	ゲームクリエイタ科 2 年生の保護者

※区分別、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 3 0 年 6 月 2 2 日（金） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所：麻生情報ビジネス専門学校北九州校 6 階 6 0 2 教室

5. 学校関係者評価方法

平成 2 9 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
 A：ほぼ達成している
 B：達成しているがやや不十分
 C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

建学の精神については、校訓「無私」を麻生塾の基本価値とし教職員・学生の心のよりどころとすることを、学生便覧等に明文化して浸透を図っています。学外に対しては Web サイトで紹介しています。新任の教職員には、グループ企業研修会の際に麻生塾発祥の地に建立している「無私」の碑を見学し、その由来を説明しています。また麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行ってきました。

この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。またこの理念は、『麻生塾ルールブック』の第1章に明文化しています。学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

見つかった課題

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等について、最低限の資源は確保できています。ですが、より良い人材を輩出するためには、さらに充実した資源(特に人的資源)が望まれます。

改善策又は改善の方向性

継続的な人的資源の確保に努める。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果:A

■中項目総括

建学の精神などを明文化したものを『麻生塾ルールブック』等で共有、Web サイトで公表している。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

「建学の精神」、「法人の理念」を明文化したものを『麻生塾ルールブック』等で共有、Web サイトで公表している。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

入学時には学生便覧で説明し、グローバルシチズン教育として授業カリキュラムに組み込み周知させている。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

教育課程編成委員会、学校関係者委員会での指摘事項を受け定期的に見直しを行う。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

「法人の理念」および「学校の教育理念」に基づいて教育目的や育成人材像を決定する。Webサイトで公開している。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果:A

■コメント

文書化したものをオリエンテーション、授業開始時に提示する。授業アンケートで理解度を確認、Webサイトで公開。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

教育目標や人材育成像は、各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。カリキュラム作成においては、広報担当から高校関係者のヒアリングを行うとともに、平成25年度より業界関係者・有識者などの関係者で構成される教育課程編成委員会を発足させ、同委員会の意見を参考にカリキュラム開発を行っております。シラバスは教科ごとに作成しており、事前に学生に配布し到達目標を説明しています。

授業評価は教師アンケートを実施し、結果をフィードバックして授業の改善を行なっています。教員は、学科の育成目標に向けた授業を行うことができる要件を満たしていますが、人材開発システムに基づき更なるスキルの向上を図っています。学内外の研修参加も積極的に行なっています。

付加的教育については、独自のものとして塾長の唱えるグローバルシティズンをめざす教育(GCB 教育)を行なっています。人間力、志、人生の基軸等を学び、国際社会で活躍できる人材育成を目標としています。必要な分野においては、人材育成目標に合致したインターンシップを実施しています。また入学後、基礎学力が不足していると判断された学生に関しては、一般教養の補習を行っております。

シラバスをさらに詳細に記したコマシラバスは用意していますが、授業内容に柔軟性を持たせるため、詳細な計画表は用意していない。リメディアル教育(導入前教育)については、平成 30 年度より入学前にeラーニングを実施した。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：**適正**

学校関係者評価 評価者のご意見

カリキュラムが全体のどのくらいの割合で見直されているかを知りたい。
流れの早いIT業界では変化が必要だと思う。

=====

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：**適合**

■自己点検・評価結果：**A**

■中項目総括

各学科の教育目的と育成人材像は、学生便覧・本校 Web サイトにて公表しています。また教科の内容については内部職員、外部関係者を交えて協議を行い、カリキュラムに反映しています。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育

内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)については教育課程編成委員会での指摘事項について検討、反映させ、さらに内部職員、外部関係者を交えて協議を行い、基本的な方針を定めている。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

求める学生像、カリキュラムについてはWebサイト上で公開。教育課程編成委員会での指摘事項を踏まえ、業界ニーズに沿って方向付けを行っている。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

各学科カリキュラム、各科目においてシラバスを使用し学生に周知している。コマシラバスにおいて、詳細な授業や計画書の改善が必要である。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者をに入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

教育課程編成委員会、学校関係者委員会での意見交換を通じ、業界関係者、保護者代表、近隣住民の方のご意見を反映させている。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

シラバス、コマシラバスは各系、学科ごとにリーダー以上が管理し、作成時には担当者間で話し合いを行い、整合性を図りながら作成している。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教育方法についての客観的評価は学生による授業アンケート、卒業アンケートを通じての満足度調査によって推し量ることができる。また、教育課程編成委員会、学校関係者委員会での意見を参考に内部職員、外部関係者を交えて協議し、カリキュラムに反映している。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業方法についての客観的評価は学生による授業アンケート、卒業アンケートを通じての満足度調査によって推し量ることができる。また、教育課程編成委員会、学校関係者委員会での意見を参考に内部職員、外部関係者を交えて協議し、カリキュラムに反映する。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

シラバス、コマシラバスは各系、学科ごとにリーダー以上が管理し、作成時には担当者間で話し合いを行い、整合性を図りながら作成し、授業開講前に学生へ提示している。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生入学時に学生便覧で科目の評価基準について明示している。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

学生による授業評価を年2回実施しています。アンケート結果に基づき、授業観察や研修の計画を立て、実施しています。教員の専門性や指導力向上のための支援も、必要に応じて実施しています。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートは年2回実施しており、その結果に基づき面談や研修を実施している。授業観察に関しては、平成29年度は新任教師2名について学校グループでの授業スキルアップ研修、各系、各科内教員による授業観察を実施した。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラムの改善が必要な場合には内部職員、外部関係者を交えてカリキュラム会議を行っている。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行っているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年間の教員研修計画を作成し、スキルアップを図るために学内・外の研修へ参加している。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

必要な分野で人材育成目標に合致したインターンシップを実施しています。また麻生塾独自のグローバルシティズンベーシックを中心に、学生1人1人のキャリア教育も行っています。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 必要な分野で人材育成目標に合致したインターンシップを実施している。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

麻生塾独自のグローバルシティズンベーシックを中心に、学生1人1人のキャリア教育を行っている。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

システムエンジニア科・コンピュータシステム科については入学者全員にテストと課題を実施した。また、学科を問わずAO入学者に関しては事前の課題を実施している。さらに本年度より麻生塾独自のコンテンツとして一般教養の E ラーニングを導入、新入生へリメディアル教育として、在校生へは補習教育として実施した。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教育組織については、教育目標の達成や育成人材像に向けた教育がスムーズに行われるように教員を組織化しており、文書化しています。学校の年間スケジュールに関しては年間タム表を作成し、教職員・非常勤講師・学生に配布し周知しています。就職支援に関しては、進路指導室を設置し求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えています。

分煙・エコ活動・学内の整理整頓清掃等の教育環境の整備については、規定やルールを定め学生便覧に文書化し、および

教室に掲示して周知徹底を図っています。学内外の実習時の安全対策に関しては文書化し学生に周知すると共に、火災や地震発生時の避難経路を教室に掲示し避難訓練を毎年行っています。施設・備品、防災・防犯設備の管理・整備および点検は定期的に行なっています。学生の登下校および学校生活における事故の保険には、全員加入しています。

見つかった課題

各学科の教育目的を実現するため、必要な授業科目を教えるのに専門教員は在籍しています。ですがより良い実施体制を実現するためには、さらに専門性の高い人材を確保する必要があると考えています。

改善策又は改善の方向性

継続して専門性の高い人材確保に努める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

「人材確保が難しい」となると社内でのスキルを上げていく必要がある。教える側の教え方などの再教育などを行っている学校もある。教育側の再構築をやらないうざり、技術力や教え方を向上させることを考えていかないといけないのではないか。大学ではスタッフ(事務側)の再教育も行い人事評価を行っているところもある。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果：適合■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

各種の法令を遵守し運営している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教職員名簿を作成し、教員要件、必要人員を管理している。併せて毎年の更新も行っている。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

特記事項なし。

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

専門科目を教えるのに相応しい人材は備えている。さらに専門性の高い教育を実施するため、より充実した体制にしていく。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各学科共に必要な教員は確保しているが、より充実した教員組織としていく。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラムの改善が必要な場合には常勤講師、非常勤講師を交えてカリキュラム会議を行っている。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

学生が就職に関する情報を収集するために、進路指導室を用意しています。学生の受験報告書が閲覧できるように常設しており、必要であれば専門教員による就職指導も実施しています。

学内の設備についても定期的に管理・点検しています。防災・防犯設備などの災害対策、机・イス等の備品、パソコン実習室に関して、不良箇所はただちに改修しています。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 施設、設備の保守、管理を定期的に行っている。今後、管理一覧を作成する。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいと実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

企業インターンシップほか学内外での注意事項などを文書化し、対象学生へ配布を行っている。学生・生徒災害障害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入している

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

保守・点検業者を通じ確実に整備・点検を行い、その都度報告書を受け取り、精査した。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

進路相談室が設置され。学生が就職活動を行うためのPC、書籍が整備されている。進路相談、面接指導を行っている。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

進路指導室には図書コーナーがあり、学生・教員が利用できる環境にある。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

年度開始前に学科会議で、前年度の結果や評価を考慮し学生に関する目標設定を行い、学内キックオフ会議で教職員が情報共有しています。就職に関しては各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先などは、教職員で共有できるシステムを作成しデータの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・Web サイト・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで、外部に対して就職実績を公表しています。

成績評価・単位認定の方法は明確に定めており、学生便覧で周知しています。目標資格・検定については、各学科で明確に定めています。評価・成績・資格・検定・退学に関しては担当者会議を設け目標設定を行い、結果および検証について教務会議・系会議などで共有・記録しています。卒業生の就職の記録は学校システムで行ない、パンフレットおよび Web サイト等で公表しています。

見つかった課題

教育の評価・成績に関しての検証。

改善策又は改善の方向性

教科の評価・成績に関して目標を設定かつ共有し、また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告していく。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

ある医科大学の話ではあるが、医科大学において医師免許に合格させることが最終目的である。最終的に合格できない学生がどの科目が悪かったからなのかなど分析している。そうすることにより不合格になった学生と合致している新入生を早めに見つけ指導している。その医科大学は合格率を全国 2 位まで上げることが出来た。

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教科については評価・成績の目標を設定しています。同様に資格・検定・コンペに関しても目標を設定しています。いずれも進捗状況を管理し、結果は Web サイト等で公表しています。学生の就職に関しても目標を設定し、スケジュール管理も実施しています。

退学者数が減少するように情報を教職員で共有し、協議を行い可能な限り対策をしています。また退学者数は Web サイトに公表しています。学校評価関係者委員会でも報告しています。

小項目 4-1-1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「学生便覧」に各学科の卒業基準資格・検定について明記している。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教科の評価・成績に関しては「塾システム」へ入力するとともに別表を作成、文書としているが、検証について、今後改善の必要がある。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

【 適用除外 】

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度開始前に学科会議で、前年度の結果や評価を考慮し目標設定を行い、データ化し共有している。Web サイトで公開している。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

前年度の結果や評価を考慮し目標設定を行い、データ化し共有している。Web サイトで公開している。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

退学者を防止するための活動として、退学などが懸念される場合はその経過についてガイダンス記録表を作成、情報を共有している。退学者数については Web サイトでの公開を行っている。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

入学予定者には、学生募集活動を通して育成人材像、学科の目標などの情報を提供し、選択のミスマッチがないように十分な支援を行なっています。入学後は、担任による定期的な面談および専門家や専門機関による相談や健康診断などにより、学生の目標達成に向けた支援を積極的に行なっています。保護者とは必要であれば面談を行ない、情報共有や相互理解を図っています。

卒業後は同窓会組織(校友会)を通じて学校との情報共有を図り、卒業生のニーズに合った研修や職業紹介を行なっています。また就職部門員が卒業生の就職先企業へ定期的な訪問を行ない、卒業生の就業状況を把握して、在校生へ情報のフィードバックを行なっています。そのほか、学校情報を定期的に保護者、高等学校、企業等にお知らせし、学生支援を行なっています。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

学校の成績は仕事にあきらかに影響があると思う。それにもう少し辛抱強くなる必要がある。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

学生がスムーズな学校生活を過ごせるように、担任またはスクールカウンセラーに相談できる環境を整えています。その際の面談内容は記録表に記入しています。保護者とは入学前オリエンテーションや、就職活動時の三者面談などで、情報交換ができるよう計画してあります。また経済的に不安のある学生に対して援助できるよう、奨学金制度を用意しています。

留学生や社会人、障がい者等も受け入れることができるように学内の設備を揃えています。留学生に関しては北九州市留学生支援ネットワークにも加盟しているため、組織的なサポートが可能です。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校全体で入学後に行う学生との2者面談、就職活動前の保護者を含めた3者面談を行っている。担当者間で情報共有している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校全体で入学後に行う学生との2者面談、就職活動前の保護者を含めた3者面談を行っている。担当者間で情報共有している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

有資格者を配置し、適切な進路相談指導を行なっている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

有資格者を配置し、適切な相談体制を整えている。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する専用のメールアドレスを利用して、専門の担当者の相談を受けられるようにしている。メールアドレスは学生便覧にも記載し、入学時に学生へ告知している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学費免除制度を準備しており、パンフレット等で公表している。また、学生支援機構など学外の奨学金が利用できる体制を整えている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

在留カード更新手続、教育訓練給付金、障害者枠求人の就職支援を行っている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

運動系、文科系クラブ活動を複数設け、年一回説明会を実施し、積極的に入部を促している。

小項目 5-1-ANC

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： _____

■コメント

【 適用除外 】

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

校友会(同窓会)を設置し、定期的に校友会総会を行っている。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

1年目の就職状況は担当レベルで把握できている。3年間の状況は塾全体で追跡調査を行っている。積極的な卒業生訪問の実施。卒業生と直接話し、状況等をブログでアップしている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生には校友会を通じて再斡旋の案内を行っている。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を募集要項に明示して、学校および各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにし、入学後のミスマッチを無くすように努めています。募集要項にはその他、学費・教材費等も明示してあります。

学生の募集活動においては就職実績や国家試験結果をパンフレット・Web サイトで公表し、教育成果を正確に伝えることで、入学希望者に現状を理解していただけるようにしています。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

入学してきた学生に対して、専門的な技術や知識の指導は即戦力にもつながっている。一方で自主性や創造性に欠けている学生が見受けられ、自主性、頭をひねるという点を低く感じる。スキルは申し分ないがパーソナリティーを養うところを教育して欲しいと感じる。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

入学後のミスマッチがないように、入学前に募集要項やオープンキャンパスを通して学科の目的、育成人材像、国家資格、就職先を明示しています。選考方法は募集要項に明示し、公正かつ適切な入学者選考を実施しています。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

募集要項に明示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

県内外を問わず、教職員が訪問し、ガイダンスなどを実施する中で進路ニーズを把握し、学生募集活動へ反映している。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

パンフレット、Webサイトで公表している。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

パンフレットで学科ごとに育成人材像、めざす就職先、習得できる知識・技術について明示している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

募集要項に学費、教材費の内訳、支払時期を明示している。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

募集要項に選抜方法を明示、選考を公平かつ適切に実施している。また広報会議で入学選考について定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

各学科で適切な定員を設定し、収容定員内で学生数を適切に管理している。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

学内でマナー委員会(ボランティア・挨拶などの活動を推進する)を組織し、年間の活動計画を立て、定期的な実施報告を行なっています。活動は教育内容を生かした連携を図りながら推進しております。学生はそれぞれの興味や関心に対応した、NPO法人等が主催するさまざまなボランティアへ参加しています。

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など、積極的に社会貢献を進めています。さらに地域貢献への取り組みとして、高校生や大学生向けの仕事内容紹介イベント「お仕事スタジアム」を毎年参加費無料で開催しています。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし。

=====

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

学校運営に必要と判断したら、積極的に団体へ加盟するようにしています。現在は、北九州総合デザイナー協会や北九州市留学生支援ネットワークに加盟しています。また、北九州市産業経済局企業立地支援科とは常に連携し、協議も実施しています。

社会活動への取り組みとしては小学校や高等学校への公開講座、中学生のインターンシップ受け入れを実施しています。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

清掃活動などのボランティア活動を実施している。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

高校や小学校に出向いての公開講座を行っている。また、中学生のインターンシップも受け入れている。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

高校や小学校に出向いての公開講座を行っている。また、行政と連携した北九州高校生イラストコンテストを実施している。CGデザイン科・CGクリエイター科においては、学生の作品が北九州商工会議所主催の「わっしょい百万夏祭り」のポスターとして採用された。

=====

基準 8 管理運営・財務(学校・グループ)

基準 8 総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるために、コーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底強化に努めています。平成 25 年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて、教職員の資質向上に努めています。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

運営会議を定期的に行い、議事録を作成しています。

防災・防犯対策については非常事態発生時の組織票を作成し、訓練を実施しています。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教務会議、リーダー会議などを通じ、進捗、課題、成果を共有している。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教職員で職務分掌を文書化、教務室内に掲示し、教職員で周知、運用している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

防災・防犯対に関するマニュアルを文書化し、教務室、事務室で常時備え置いている。また避難訓練を年に一度実施している。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

個人情報に関する規定を準備、同規定に基づき教職員が活動している。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

ハラスメント防止規定を作成、文書化している。それに基づき運用している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

研修計画を全教職員が学内サーバーで共有できる環境を整備。責任者と相談したうえで業務遂行上必要な研修を実施している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

年度の終わりに次年度の予算計画を立て、管理運営をしています。その際に必要な機材等も洗い出し、学校運営に支障のないように準備しています。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

年度予算を作成している

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

月次予算報告書を作成、定期的な確認、分析を行っている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理している。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

【 適用除外 】

=====

基準 10 改革・改善・情報提供

=====

基準 10 総括

文書化された自己点検・評価規定に基づき、本校の評価を組織的に行っています。行った評価は本校の全教職員に共有しています。また自己評価は年度末までに実施するようにしています。点検結果は学校関係者評価委員会や、本校 Web サイトにて公表しています。今後も継続して自己点検・評価活動を実施していきます。

見つかった課題

特記事項なし

改善策又は改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

学校関係者評価委員会報告書の学校WEBサイトからのリンクが分かりやすくなると良い。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

自己点検委員を任命し、自己点検・評価規定に基づき、自己評価を実施しています。不足している内容については取り組み始める時期を明確にし、次年度の自己評価では改善されるように学校全体で努めていきます。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾内の実施規定、計画に基づき適切に点検、評価を行っている。

自己点検委員を中心に、全教職員への情報発信を行うことで共有を図る。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検、評価委員の活動や評価結果を実施後に教職員へ発信している。また、共有ファイルで評価結果を閲覧できるようにしている。改善活動には教職員全体で取り組んでいる。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価委員の報告で挙げられた改善項目についてフォローアップシートを作成し、改善計画を策定し、実行している。また、改善項目について毎年度点検を行っている。

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

Web サイトやブログを活用し発信する。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校の Web サイトに掲載、広く関係者へ情報提供している。また、職業実践専門課程 学校関係者評価委員会メンバーへ事前の報告を行っている。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教育支援グループの指示の基に実施し、ホームページにも公開している。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

学校の Web サイトに掲載、広く関係者へ情報提供している。。